

■金浜地区復興まちづくり計画（素案イメージ）作成にあたっての情報共有

第3回検討会においては、これまでに検討されてきた意見を「地区復興まちづくり計画（素案イメージ）」として整理しています。
ただし、複数の考え方がある個所や関係機関との協議などにより再度検討すべき事項などを以下に整理しています。

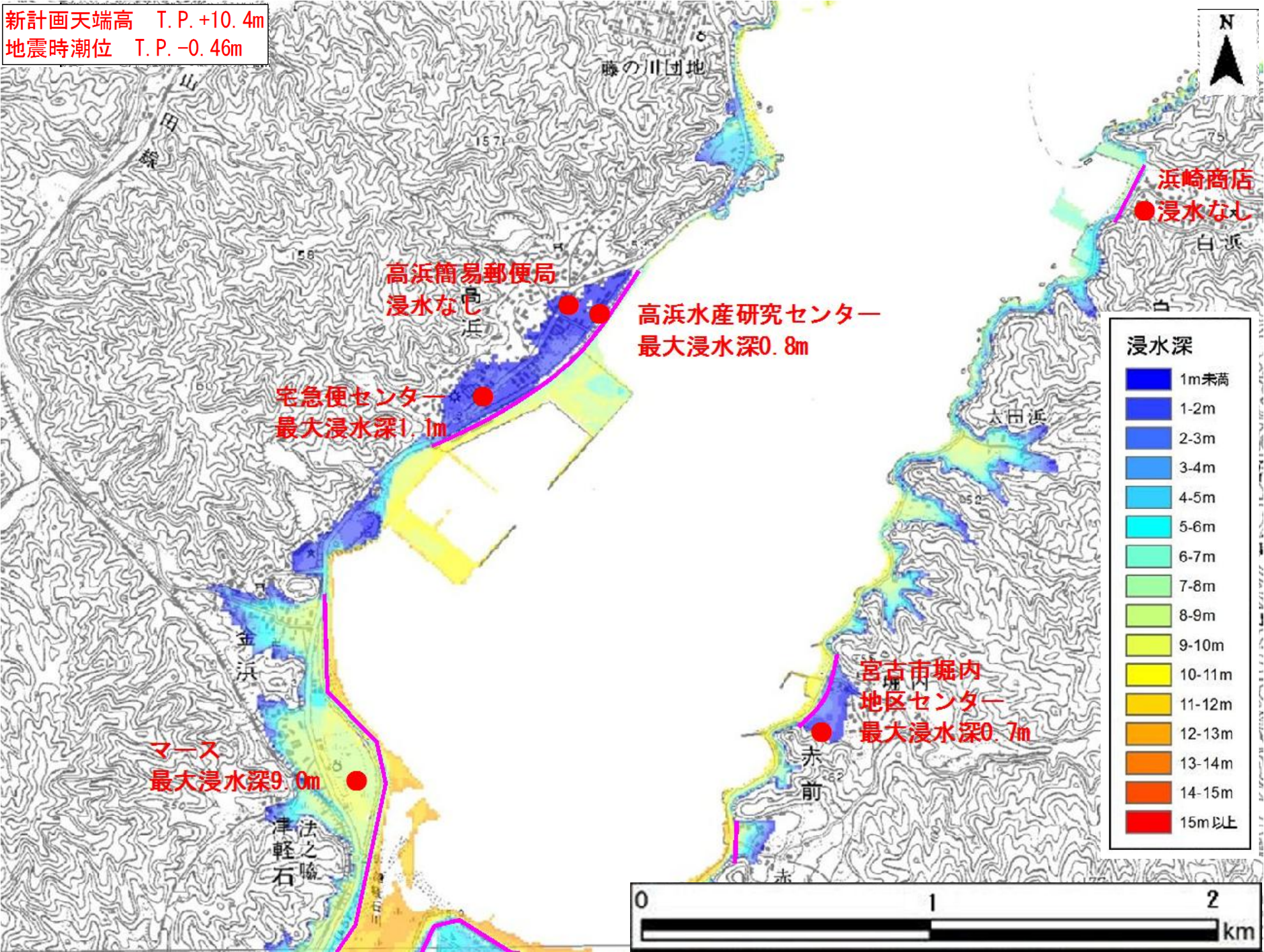
1. 復興まちづくりを検討する際の前提となる津波シミュレーションの条件

これまでの検討会で津波シミュレーションの情報を発信してきましたが、県から復興まちづくりを検討する前提となる津波シミュレーションの条件が示されました。

- 津波シミュレーションの条件
- ・県が決定した防潮堤が整備されている
 - ・東日本大震災が発生した当時の潮位、および津波高（満潮時の潮位）
 - ・東日本大震災による地盤が沈下した状態での地盤高とし、更なる地盤沈下は考慮しない。（更なる地盤沈下も考慮）

※（ ）が前回配布資料の条件

●復興まちづくりの前提条件を踏まえた津波シミュレーション



2. 移転候補地の追加検討

第 2 回検討会でご意見のあった追加移転候補地について検討しました。検討結果は右図及び下記のとおりです。

■追加候補地区の検討結果

- ・急峻な地形上で宅地面積を確保するため、土工量が多くなり、残土が大量に発生する。
- ・最大切土高＝30m程度で岩土工となる。
- ・切土長大法面（h=50m）が発生する。
- ・長大法面は宮古湾からの眺望を損なう。
- ・雨水排水は現況河川に直接放流とするため河川改修が必要。

図 追加候補地の検討図 検討図①

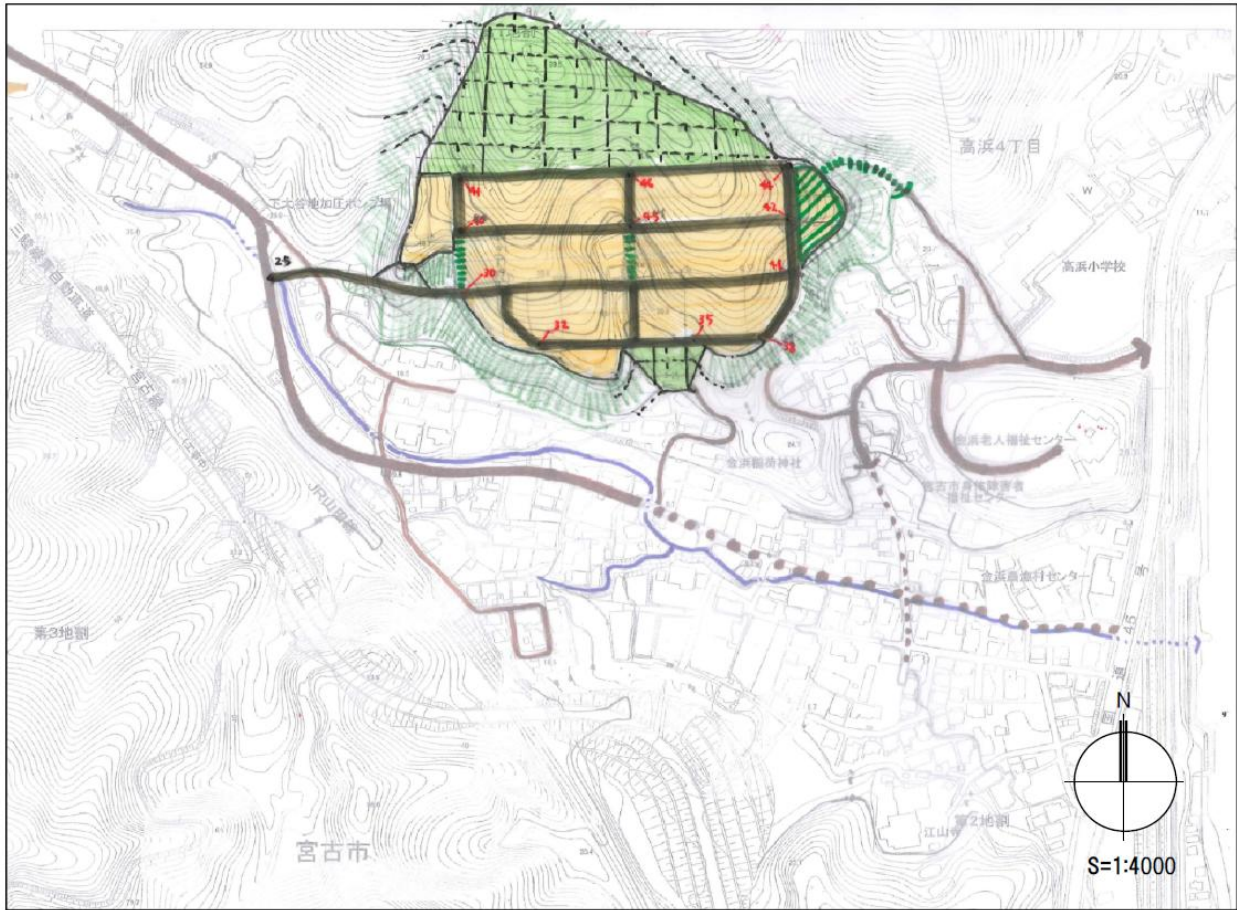


図 追加候補地の検討図 検討図②

